



ノミ予防の勧め 春季の大量発生を防ぐために

木枯らしが吹き、寒さと共に冬の足音が聞こえております。
こんな中でも密かにワンちゃんネコちゃんを狙ってる奴らがいます。そうノミです、今回はそのノミにスポットをあて、冬場の効果的な予防を紹介していきます。

ノミの豆知識(敵を知ろう)

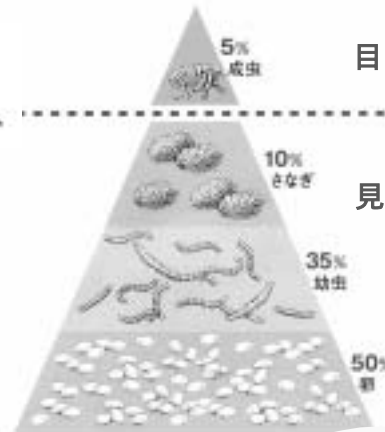


ノミの成虫は、吸血後36~48時間以内に産卵を始めます。
寿命は通常、2週間~2ヶ月程度です、しかし環境によっては1年近く生きるノミもいます。



卵がワンちゃん・ネコちゃんから床に落下し、1~7日で幼虫になります。

ノミの幼虫は、吸血をせず、成虫の糞やワンちゃん・ネコちゃん、人の食べこぼし、フケなどを食べて1~2週間でサナギになります。
サナギの期間は1週間~6ヶ月で振動や体温、二酸化炭素に反応して羽化します。



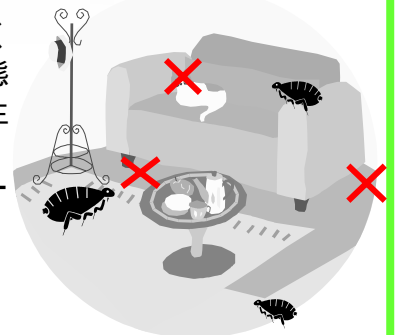
成虫は氷山の一角!!

ノミの成虫が5匹いたとしたら、残りの95匹は卵、幼虫、サナギで目に見えない所に潜んでいます。成虫は1日平均20個の卵を産むといわれ、時間と共にその数は膨大になります。

冬季のノミについて

冬の寒い時期は、夏のようにノミの成虫はほとんど見られませんが、いなくなったわけではありません。環境の温度が低下するとノミは、卵やサナギの状態でペットの寝床やカーペット、ソファ、畳、家具のすき間などでひっそりと生きています。

また最近では、室内の暖房がゆき届いているため、ノミは繁殖をし続けけるケースが多く冬の間もノミ成虫の発生が見られます。



冬場のノミ対策

常に暖房の効いた家庭は別として、冬場はほとんどの蚤が、卵、サナギで暮らしています。お部屋のお掃除をこまめにして、床に落ちているノミの卵、サナギを取り除きましょう。

ノミ予防の薬もかかせません。特に、この冬の時期お勧めなのが、飲ませるタイプの予防薬です。この薬は、卵、サナギからのノミの羽化を阻害します。ノミの成虫予備軍の増加を防ぐことでノミの繁殖を止めます。一ヶ月に一度飲ませるだけで、効果があり、ネコちゃんには6ヶ月に一度の注射タイプもあります。

冬場にノミの成虫予備軍をしっかり撃退しておけば、春の成虫ノミの大量発生を防ぐことが出来ます。増えてからあわてて駆除をするより今から予防することを勧めます。痒みがでてからではワンちゃん、ネコちゃんが可愛そうです。

夏季によく使う、背中にとらすタイプのノミ予防薬との併用も効果的です。

詳しくは、診察室で相談してください。